

平成27年6月22日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

宮古盛岡横断道路【区界道路】 （仮称）新区界トンネル「安全祈願祭」のお知らせ ～（仮称）新区界トンネルの掘削が本格化します～

宮古盛岡横断道路を構成する「区界道路」は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、1日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めております。

区界道路は国道106号の最大の難所である区界峠を回避することから、盛岡地域と宮古地域の交流の促進、災害時の緊急輸送路、迅速な救急搬送、物流効率化による沿岸地域の復興支援が期待されています。

この度、区界道路の「（仮称）新区界トンネル」の掘削が本格化するにあたり、被災地の1日も早い復興と工事の無事故・無災害を願い、安全祈願祭を執り行うこととなりましたので、お知らせ致します。

記

1. 日時：平成27年6月28日（日） 10時30分より（1時間程度）
2. 場所：岩手県宮古市区界第一地割地内（別添会場案内図参照）
（区界道路 新区界トンネル宮古市側坑口）
3. 主催：鹿島・東急特定建設工事共同企業体
4. 内容：工事関係者・地区代表者による安全祈願等
5. 新区界トンネルの概要：延長4,998m 断面積約95㎡
車道幅員12m

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>

（問い合わせ先）

《安全祈願祭や施工内容に関する問い合わせ》

鹿島・東急特定建設工事共同企業体

TEL 0193-77-3697

現場代理人 にしかわ こういち 西川 幸一

《事業に関する問い合わせ》

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

TEL 019-624-3131

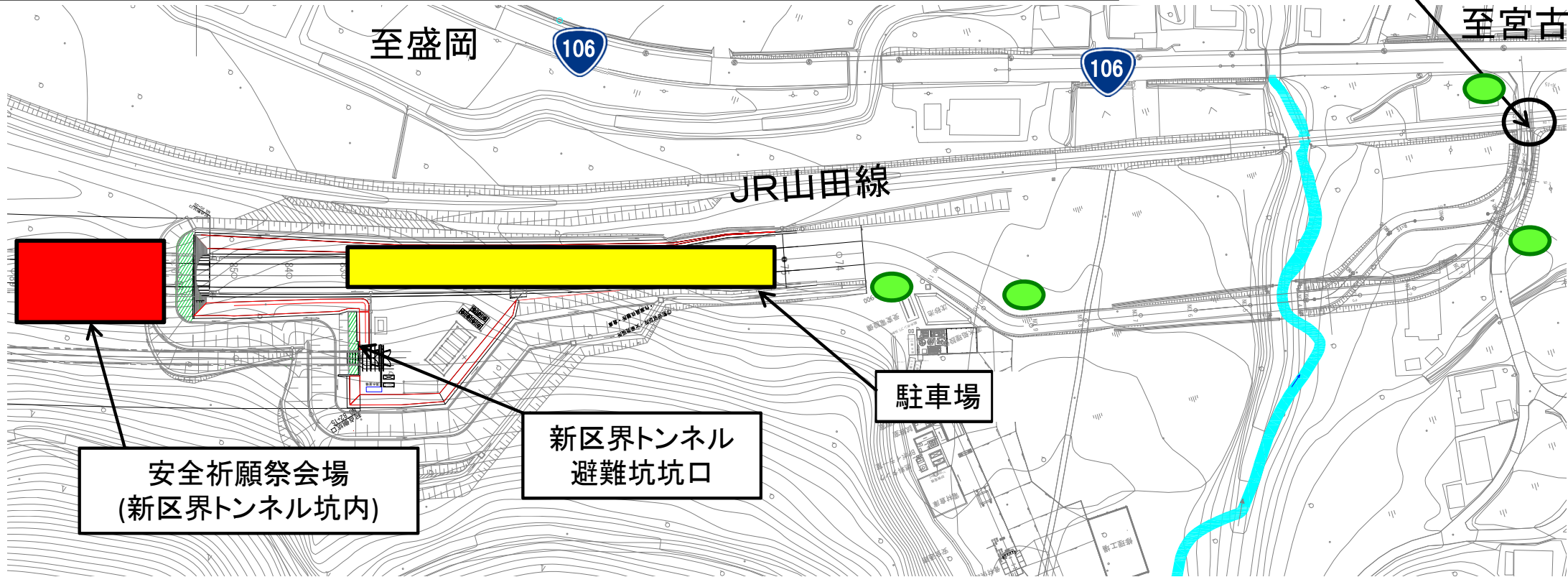
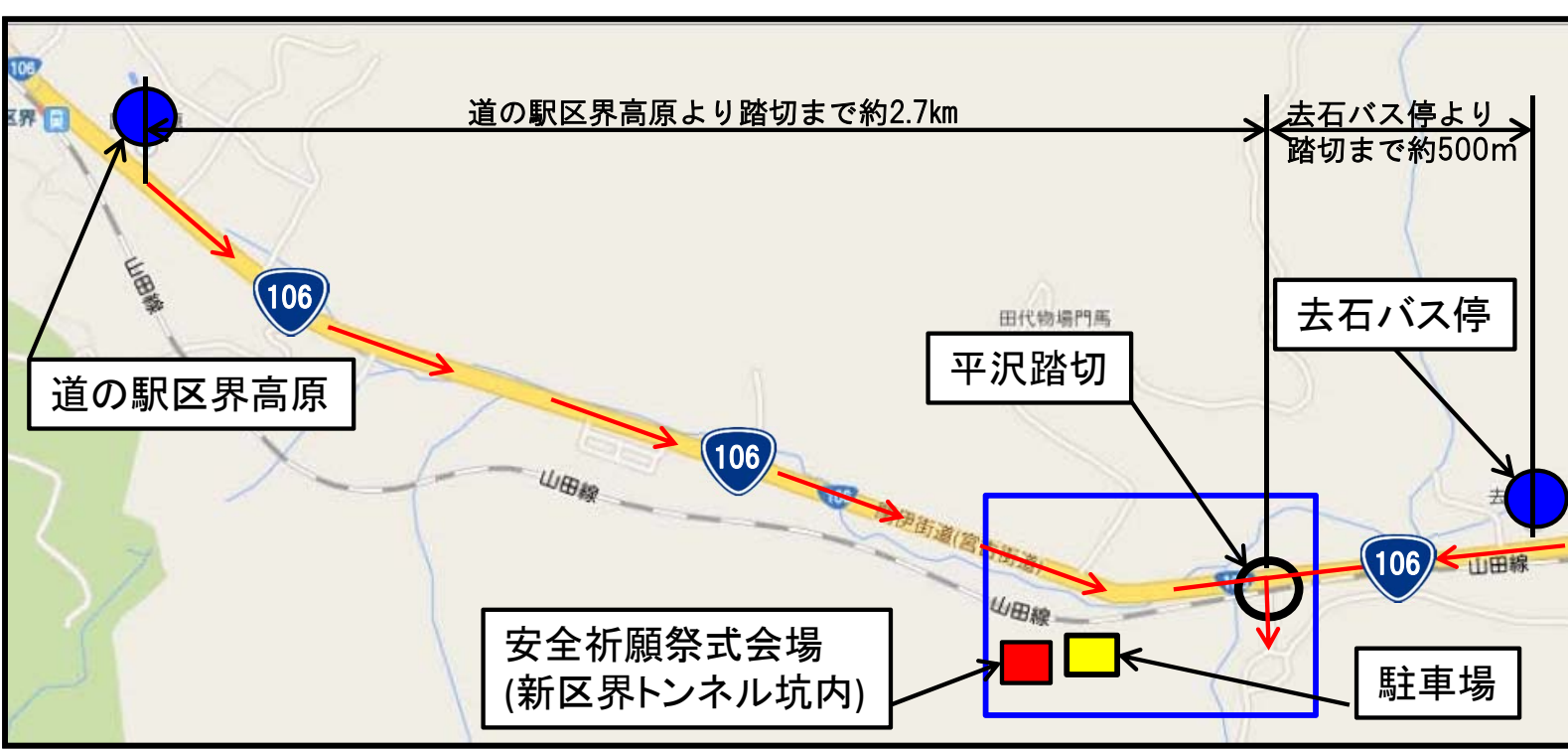
副 所 長 きごし よういち 木 越 養 一（内線205）

工務第二課長 とのさき たかひろ 外 崎 高 広（内線411）

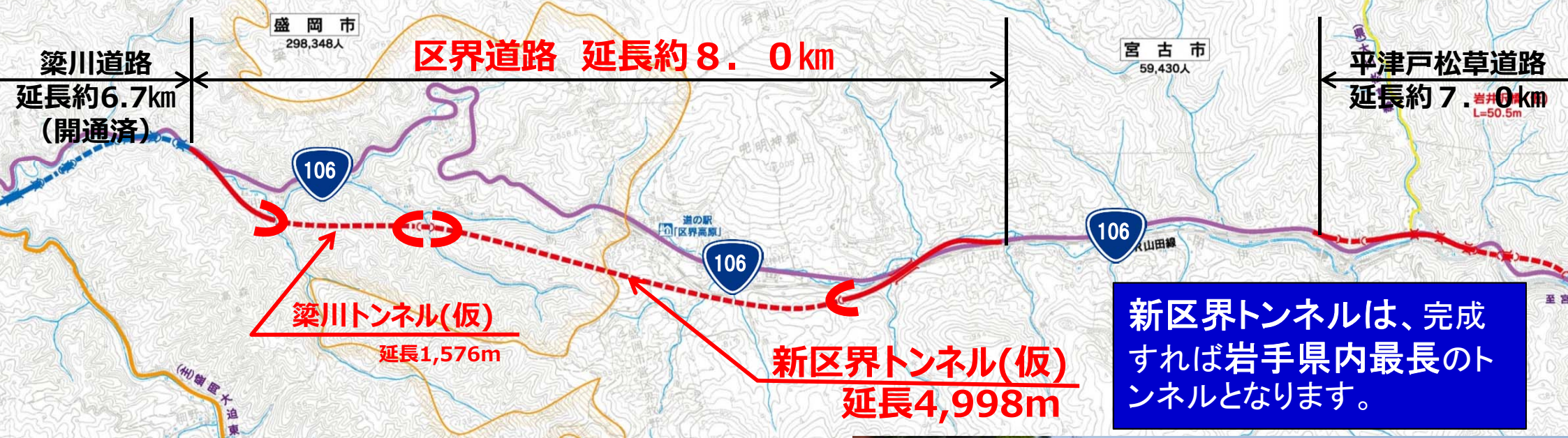
会場案内図

踏切の200m手前より案内看板を設置しております。
踏切付近より駐車場までは案内看板及び係員の誘導によりお進み下さい。

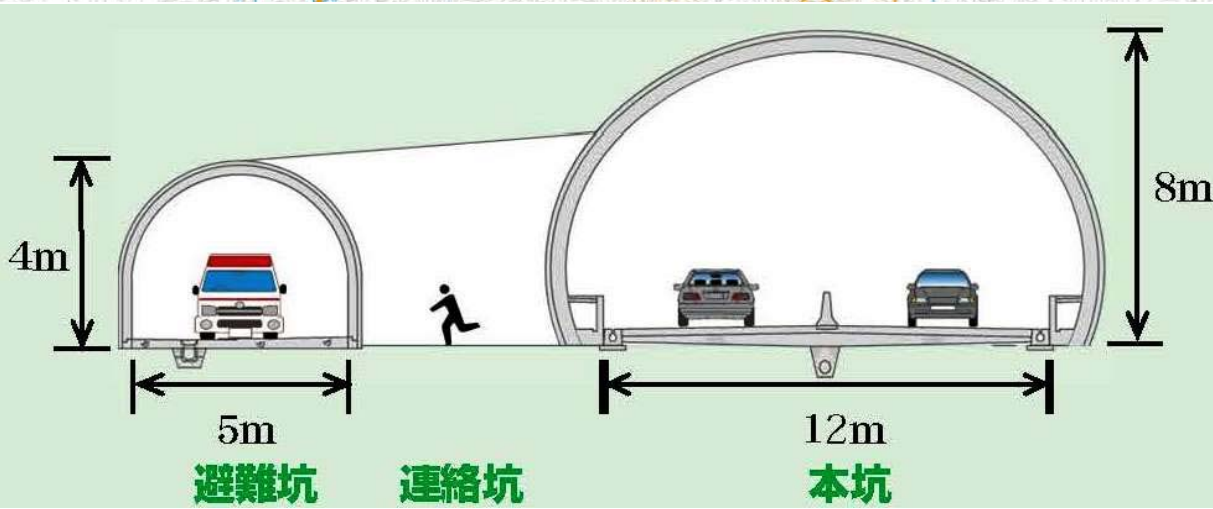
● : 誘導員



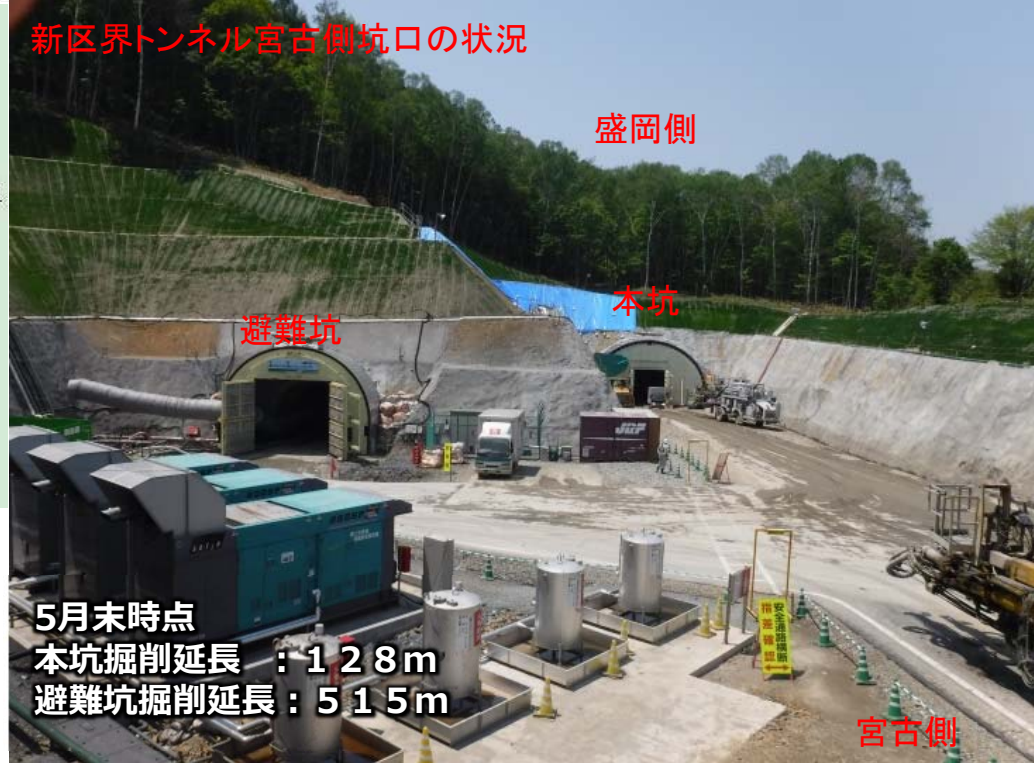
新区界トンネルの概要



新区界トンネルは、完成すれば岩手県内最長のトンネルとなります。

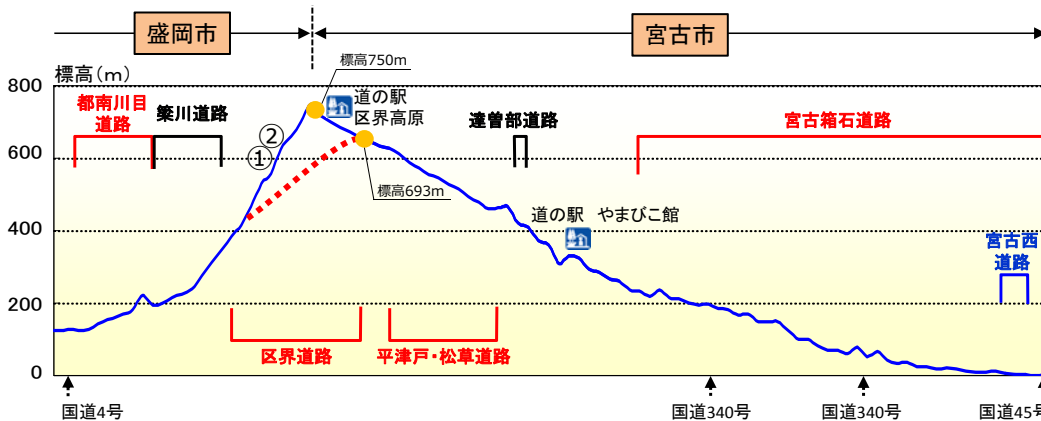


トンネル内での事故等不測の事態に備え、避難坑を設置し、車両用・人道用避難連絡坑を約350m毎に交互に連絡通路を設け、万一の場合の安全性の確保を図っています。

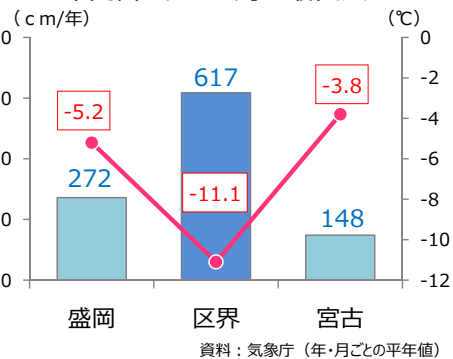


国道106号最大の難所が解消

- ◆ 国道106号で最も標高が高い「区界峠」は、冬期の道路環境も厳しく、地域間交流の大きな障害
- ◆ 最大難所の解消により、宮古地域～盛岡地域の地域間交流を促進



▼ 年間降雪量と2月の最低気温



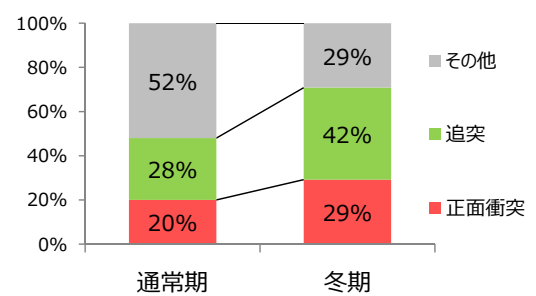
【写真① 高低差の激しい区界峠】



【写真② 急カーブ区間の連続】



▼ 区界峠区間の通常期・冬期の事故類型



災害時における緊急輸送道路の確保

- ◆ 東日本大震災では、宮古市等の沿岸地域で甚大な被害が発生
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）
 国道106号 救援支援物資輸送612回
 3月12日～4月末：県トラック協会契約分



緊急輸送道路	
津波浸水区域	

▼ 東日本大震災時の状況（宮古市）



写真：岩手日報社宮古支局 撮影



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- ◆宮古地域の管外搬送の約95%は、盛岡市内の医療施設へ救急搬送
- ◆宮古盛岡横断道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

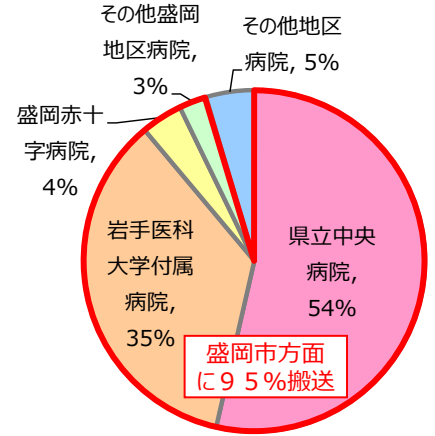
▼国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

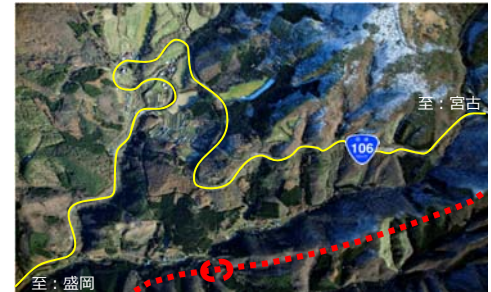
回数：17回
合計時間：112時間



▼宮古地域の管外搬送状況



▼区界地区の急カーブ状況

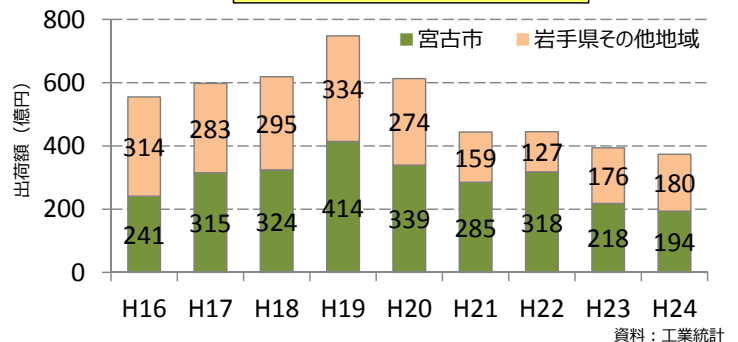


沿岸地域の主要産業の復興を支援

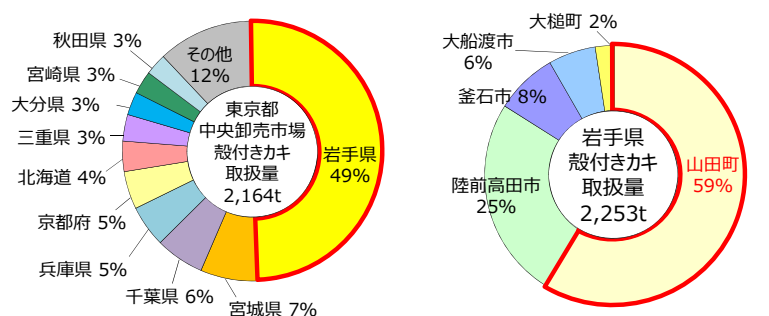
- ◆宮古市のコネクタ製造や山田町の養殖カキ生産は、宮古地域を代表する産業
- ◆宮古盛岡横断道路は、輸送時間の短縮など物流効率化を促進し、沿岸地域の早期復興を支援

▼岩手県内のコネクタ出荷額の推移

岩手県が全国7位の出荷額



▼岩手県殻付きカキ取引量



【コネクタ】



【カキ】

